

民主島根

2018年
2.18
第1305号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国5県の共産党 いっせいで宣伝行動

安倍政権の暴走ストップ

党地方議員ら先頭に各地で訴える



松江市内で宣伝する田中、尾村、橘、吉井の各氏(写真上)、
江津市内で訴える多田、森川両市議ら(写真下)

中国地方の日本共産党は9日、各地で一斉宣伝に取り組みました。江津市駅前では、多田伸治、森川佳英の両市議らが宣伝し、市民と野党の共闘をさらに前進させて安倍政権を倒し、平和とくらしを守る国民本位の政治に転換しようと呼びかけました。

多田市議は「平和憲法を踏みじり、消費税を増税し、都合の悪いことにはフタをし、国民には背を向け続けている」と安倍政権を批判。森川市議は「日本を再び戦争をする国にしてはならない」と力を込めました。演説を聞いていた男性(60)は「まずは森友・加計問題を逃げずにはつきりさせてほしい」。客待ちのタクシー運転手は



日本共産党西部地区委員会では9日、浜田市の大宇や商業施設前で「安倍

「孫のために平和を」 党西部地区委「3000万署名」行動

「アベノミクスの5年間で生活がよくなったとは思えない。給料も上がらないし、むしろ苦しくなっている」と語りました。松江市では、積雪の中、

尾村利成県議、橘祥朗、田中肇の両市議、吉井安見民青県委員長が街頭から訴えました。安来市、奥出雲町などでも宣伝しました。

9条改憲NO!3000万署名」に取り組みました。(写真)

大学前では、女子学生(21)が「強引に改憲しようとする安倍さんの姿勢は許せない」と署名。商業施設前で署名した男性(48)は「自分の一筆は小さな一筆かもしれないが、安倍さんの改憲を止めるために署名しました」と話しました。女性(61)は「明日は孫の誕生日です。孫のためにも平和が大事です」と語りました。



1日の両日、中林佳子元

市民と野党共闘の党を大きく 新春の集い 中林佳子元衆院議員が訴え

日本共産党は10、11日の両日、中林佳子元衆院議員を迎え、集いを開きました。中林氏は安倍政権の異常な対米従属、大企業優先の政治を批判し、悪政を市民と野党の共闘で打ち倒す共産党の魅力語りしました。

10日、出雲市で中林氏は「今後の選挙戦は、共闘の要となる共産党が大きくならないといけない。『安倍政治を許さない』と願っている方には、ぜひ仲間に加わってほしい」と語りかけました。



日本共産党島根県委員会は4日、出雲市で第83回県党会議を開きました。(写真)

第83回県党会議ひらく—総合計画・体制決める—

プしよう」と強調し、「来春の統一地方選と夏の参院選に向けて勇躍して立ち上がる」と呼びかけました。

後藤勝彦県委員長は、市民と野党の共闘をさらに広げ、安倍暴走政治をストップの通りです。(敬称略)

▽委員長 後藤勝彦(49) 〓再 〓▽副委員長 尾村利成(55) 〓再 〓▽書記長 上代善雄(63) 〓再 〓▽常任委員 岩田剛(37)、遠藤秀和(40)、大國陽介(38)、村上万里(30) 〓以上再 〓。

鼓動

県党会議が4日、出雲市で行われた。私は東部地区の代議員として参加した。熱い決意、訴えや笑いもあり、とてもいい県党会議だった。

▽西部地区の代議員として発言した浜田市在住の学生党員Aさん(岡山県出身)が島根に残って頑張りたいということ、7日は新たな就職先の面接会場まで送迎した。見事、採用だった。帰路、その日の出雲地方は大雪だったが、西部は雪もなく晴れ空だった。陽射しを受け、瞬きを投げかける日本海を右に見やりつつ、助手席に座る彼とともに思わず私も頬をほころばせた。

▽Aさんは3月から松江市内の職場で勤務するが、問題は住居をどうするかであった。空き家も含め、多くの方に問い合わせたが見つけられなかった。しかし、たまたま私が一緒に拡大行動した男性党員が「私も若い人が一緒だと元気になる」と間借りを快諾してくださった。島根県人間的な温かみは何だろう。「党員同士のつながり」連帯、様々な言葉が脳内に飛び交ったがよくなるからなかった。迷ったら大会決定に立ち戻る。すぐに党大会決定集を開いた。目に留まったのは中野晃一さんの「一人ひとりの『人』が共産党を支えているんだな」と思いました」との言葉。県記者としてこの一年、各地を駆け巡る中で島根県党には素晴らしい方が大勢おられることを知った。これから大田市議選、津和野町議選、江津市議選、県議選、参院選など県党の底力が求められる。「私たちは一人じゃない、みんなで走っている」。選挙戦に勝利するため、私も全力を尽くしたい。(純)